

Okinoshimaだより



第181回 セーリングフェスタ 10月9日(土)



天候 晴れ 鹿川赤ブイ～甲島～長島沖
風 北3mのち西5mのちほぼ無風
タイムリミット 16:00

去る10月9日(土)セーリングフェスタ(ロングレース)を開催致しました。

今回は土曜日の開催にもかかわらず、19艇(うち外来艇6艇)ものエントリーを頂きました。

午前10時、レーススタート。スタートラインではかなりの混戦がありました。

追い風スタートだったので、スピンやジェネカーを揚げる艇が沢山いました。

この日の風は、ジェネカー有利だったかもしれませんが。そして、先行艇が大黒神島を抜けたあたりから、風向きが西よりに変わりました。

調子よく6ノット以上で帆走している艇もいました。しかし、12時くらいから徐々に風が落ち始め、無風状態に。

天気予報では、東風がずっと吹くはずだったのに…コース短縮をし、ゴールを長島沖のブイに設定しました。しばらく無風状態が続きましたが、場所によっては微風が吹いていました。

それでも厳しい状態は変わらず、リタイヤする艇も出てき始めました。そんな中、先行していた「ZERO」がファーストホームを勝ち取りました。続いて「メルルーサ」「シルバークロウ」と入り、結果9艇がゴール致しました。

11月にもレースを開催予定ですので、沢山のエントリーをお待ちしています。

艇名	艇種	フィニッシュ	着順	順位
OPUS	J29	14:43:27	4	1
はちきん	N300	14:53:30	5	2
AZTEC	YAMAHA25ML/OB	15:07:23	7	3
ZERO	IMX40	14:21:59	1	4
あかね	DEHLER36	15:01:46	6	5
SULVER CROW	ROSS10.6	14:41:20	3	6
メルルーサ	J105	14:39:08	2	7
フローラ	YAMAHA30C II	15:24:40	9	8
ハックベリー	DUF0UR45	15:20:48	8	9
BLUE MOON	YAMAHA21JOG改	DNF		
PEPPERMINT	YAMAHA26CEX	DNF		
あけぼの	OCEANIS321	DNF		
アベマリア	ESPRIT DUVENT30	DNF		
PLEIADESⅢ	YAMAHA30S II	DNF		
ASTRO V	JEANNEAU31	DNF		
はいむるぶし	YAMAHA30CRS	DNF		
フィリエビパーチェ	NAKAYASHI295	DNF		
MOANA	CONTEST35S	DNF		
スターダスト	GRAND SOLEIL38	DNF		





第182回 セーリングフェスタ 11月7日(日)開催のお知らせ



昼間は過ごしやすいですが、朝晩はかなり冷え込むようになり、冬の声が聞こえてき始めました。前回のロングレースでは風が弱く苦戦を強いられましたが、今回は良い風が吹くことを期待したいと思いますので、沢山のエントリーをお待ちしております。

日時 11月7日(日)

09:00 ミーティング(クラブハウス前)

10:00 レーススタート(予定)

お申し込み マリーナ事務所まで。



お知らせ

10月3日(日)、恒例の「上綱克彦さんプロデュースによるコンサート 江田島ブルースロック祭」を開催いたしました。例年に比べて入場者数の制限をさせていただいたため、少しこじんまりとしたコンサートになりましたが、無事に終える事ができました。

駐車場が会場になりましたので、ご迷惑をおかけしたかと思いますが、会員の皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございました。

ジェネカーとは何ぞや？

こここのところセーリングフェスタの盛り上がりが凄く、10月の島回りのレースは外来艇を含めて19艇の参加がありました。基本的に少人数のハンドリングでセーリングする艇が多く、追い風でのスピナーカーの展開となると、艪装の煩わしさや、ジャイブの時の動作にそれなりに慣れた人の手が欲しくなるわけですが、なかなかそうもいかず、もう少し早く帆走できれば…とお考えの方もいらっしゃると思います。

近年のセーリングクルーザーは艪装の簡素化が進んでおり、目的は少人数・イージーハンドリングを目指しているからです。これによって生まれたセールが「ジェネカー＝非対象スピナーカー」です。

今回はこの「ジェネカー」について解説します。

スピナーカーとの大きな違いは、

- ①左右が非対称の形をしている(ジブセールに似ている)
- ②スピポールが不要(ジャイブ時にポールの入れ替えが不要)
- ③ジャイブ時にセールを反対側にひっくり返す

非対称でタックが固定ですから、シートを2本もう片方のクリューに繋いでおくだけで、まるでジェノア(ジブ)のような感じでジャイブができます。

タックをファーリングジブに抱かせたり、タックの高さを調整するタックシート(ロープ)をバウステムやバウスプリットの先端などに固定、クリューに二本のシートをつけて、これでコントロールするのはジブと同じですね。

シートの取り回しですが、セールクロスがジェネカー前縁とフォアステイの間を通るインサイドシーティング(内回し)という方法と、セールクロスがジェネカー前縁の外側を通るアウトサイドシーティング(外回し)の二通りがあり、艇によって異なるので、両方を試してみて艪装や風の状況を見て決めるほうが良いでしょう。

基本的には微風時はインサイドシーティングにした方が良い場合もありますがフォアステイにシートの結び目が絡んだりすることがあるため、クルーがクリュー近くのシートを持ってデッキを走るようになったりしますので、アウトサイドシーティングのほうが、ジャイブの際に引っかかりにくいのでこちらを選ぶことが多いです。

このアウトサイドシーティングの場合、特にバウスプリットが無い場合はジャイブの時に風下側のシートがタック下部のバウステムあたりの金具に引っかかってしまうことがあります。



トラブらないコツは、風下シートを思いっきり飛ばしてジェネカーをしっかりと船首方向に飛ばしてから風上側のシートを引きながら風下シートを出していくと引っかかることなくジャイブ出来ます。ある程度練習してジャイブのコツを掴んでみてください。

スピナーカーは、アビーム(真横の風)あたりまでが上りの限界角度ですが、ジェネカーはそれよりも上ります。これを楽に使いこなせれば、かなり使用範囲は広くなり、小さなジブと大きなメインとのコンビネーションを考えれば、この3枚で充分ということにもなります。

ただ、真後ろの風になるとメインセールの影になってしまいますので、やや角度をつけて走る事にはなりませんから、真後ろからの風(デッドラン)には弱いということになります。走らせ方は変わってきますが、スピナーカーと比べて、セールの面積も大きいので、パワーの差は歴然ですし、ハンドリングが楽と言えます。特に長丁場のほぼ一定のレグで走る場合に特に有効です。

元々ドラフトが深いですから、少し上らせてクローズリーチ位になると引き込みが甘くなり、クリューが高く上がってしまい、ジェネカーが失速気味になることがあります。そんなときは手でシートを内側に引き込んでみて、うまくパワーが上がれば、クリューを内側に引き込むためのツイーカーシートをクリューにスナップシャックル等で引っかけて引いてやれば良い結果が得られるかもしれません。もちろんジャイブの時は外してくださいね。

ジェネカーのさらに上に行くセールとして「コード0(ゼロ)」と言われるジブとジェネカーの間に位置づけられるセールもありますが、レース仕様となっています。

セールメーカーにもよりますが、ジェネカーは大きく分けて「オールパーパス」、「リーチング(リーチャー)」、「コード0」と言った分類をされており、オールパーパスはセールエリアが大きくラフ側が大きく張り出していて、ランニングでもラフの肩が膨らんで大きいパワーが得られます。

リーチングは別名コード3とも呼ばれることがあり、オールパーパスよりも面積が小さくラフの張り出しが小さくなっています。ドラフトは浅めで上り角度を稼ぐことが出来ますが、名前の通りリーチングですから、風が後ろに回ればパフォーマンスは落ちてきます。俗に言うクルージングスピもこの類に多いようです。

コード0は見た目がほぼジブセールのよう見え、ラフは直線、ジブセール並みに上り角度が格段に良いです。ノンオーバーラップのジブセールをお使いの艇では特にパワフルに走れるというものですが、ダウンウィンドでは能力が落ちます。長距離を走るときのリーチングや上りによく使われます。

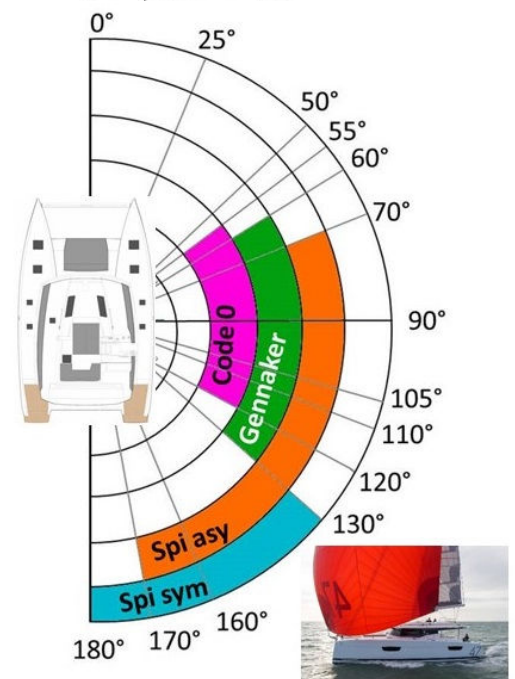
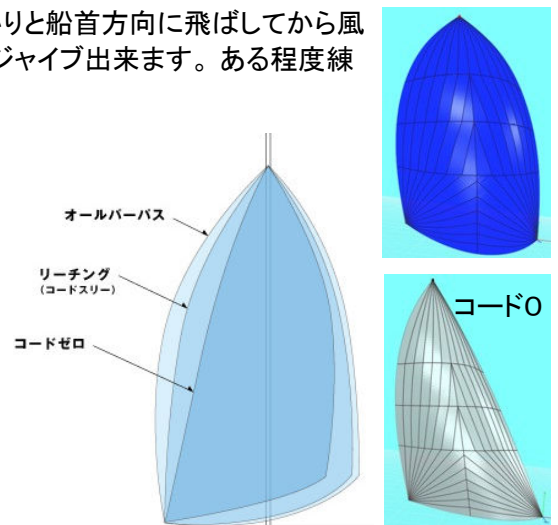
バウにポールを伸ばし(バウスプリット)、セールをしっかりと前に出してメインセールにできるだけ隠れないよう有効面積を広げる艀装も最近は多く見かけるようになりました。

さらに、ジェネカーのファーラーというのも出ています。艀装方法が特殊で、ハリヤードのようなロープにジェネカーを巻き付けるようにします。まだジェネカーを頻繁に上げる方は少ないのであまりポピュラーではありません。

艀装がシンプルで工夫すればかなりのパフォーマンスも得られるマルチなセールですから、ジェネカー艀装をお持ちの艇に一度乗せてもらってください。

ジェノア感覚でトリムできますし、パワフルな走りが体験できるはずですよ。

レース以外でもちょっと揚げて走ろうか?という気にもなりやすいセールです。



(propman)



ライフジャケット着用のお願い



既に周知をさせていただいております、平成30年2月から小型船舶の船室外でのライフジャケット着用(桜マークの付いたものに限る)が義務化されました。

屋根と壁に囲まれた船室の中にいる方は適用除外になります。
※屋根だけを有するスペースのような風雨にさらされる場所は適用除外になりません。

※船室の窓や扉、甲板上のハッチが一時的に開いていてもその内部は適用除外になります。

命綱・安全ベルトを着用している方は適用除外になります。

乗船者にライフジャケットを着用させなかった船長(小型船舶操縦者)には違反点が2点付き、船舶免許の再講習を受けなくてはなりません。ただし、違反点数の付与は、令和4年2月1

日まで行われませんが、着用による生存率は2倍以上とも言われています。

船外では必ず着用を心がけるようにしてください。



↑桜マーク

株式会社トス 沖野島マリーナ

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江 836-3

Tel 0823 (57) 2450

Fax 0823 (57) 6845

HP <http://www.okinoshima-marina.jp>

Email info@okinoshi-marina.jp

発行責任者：山内貴宏

制作・編集：propman

編集後記

近年、異常気象や地球温暖化についての対策が進むなか、今年は10月上旬までは日中の気温が30℃以上という真夏日の連続でした。

10月中旬からは朝晩の気温が一気に下がり、日中の気温も20~23℃とかなり秋らしくはなってきました。

先日、宮島をヨットで一周してみたのですが、その日はまだ真夏日で風も殆どないので全くセーリングにはなりませんでした。

念のため長袖のTシャツを着ていましたが、暑くて汗びっしょりになるくらいでした。

宮島の木々の景色も殆どが緑色で、紅葉の気配すら全く感じませんでした。

厳島神社の大鳥居も改修工事でカバーが覆われたままで影を潜めており、遠目に見える朱色の回廊だけが目立って見えていました。

夜はとても綺麗な月が観れて、ここだ

け切り取れば秋の気配を感じますが、ここまで気温が一気に変化してしまうと、殆ど紅葉なんて見られないのではないのでしょうか…あつという間に冬が。

気象庁はこの冬の寒候期予報を発表しました。10月頃からは気温の高い傾向が解消に向かい、冬は平年並みに戻り、冬らしい寒さの日が多い見込みということです。

12月から来年2月にかけてのこの冬の気温は、沖縄や西日本で平年並みか低く、東日本と北日本で平年並みの予想となっています。西日本、東日本は3年連続で暖冬でしたので、4年ぶりの寒い冬となる見込みという予報です。

特に西日本で寒気の影響を受けやすく、平年よりも寒い冬になる可能性が高くなっているそうです。

今夏、大部分が北極圏にあるグリーンランドを覆う氷床の最高地点(標高

3000メートル超)で、雪ではなく雨を観測史上初めて確認したと発表されています。氷床全体で大雨による氷の大量融解も確認されたといい、地球温暖化の影響が本格化している可能性は確実あると言われていました。8月中旬に解ける氷の平均量の7倍に達したと推定されていますし、グリーンランドを覆う氷床が今後、大量融解することはほぼ確実で、海面水位の上昇が加速すると指摘されているそうです。

あまりにも寒い冬も想像したくないのですが、地球温暖化については体感できていることが数多くあると思います。グリーンランドのような地域でこんな壮大な現象が起こっていると思うと、自然に立ち向かえない人類だけでなく、自然を変化させているのも人類なんだと思うと、ぞっとしてしてしまいます。

(propman)